

みどりのゆび

諏訪中央病院グリーンボランティア通信 No.126号 2022年10月26日発行

病院際—Thanks Week—開催

◎ 今年の病院祭は、コロナ禍で3年ぶりの開催となり、以前は土曜日に催されていましたが、人が集中しないように5日間（10月3～7日）の分散開催となりました。グリーンボランティアでは、病院側からの要望に応じて、ハーブガーデンの地図上に秋の植物の写真を添えたパンフレットを作り、期間中に訪れた方々にはそれを手に庭を巡って楽しんでいただきました。

さらに、5日（水）の活動日には、ドライフラワーの花束作りのワークショップとミニバザーを道具小屋隣の休憩スペースで開催しました。バザーは、お茶用のドライハーブの袋詰め、ハーブガーデンの写真絵葉書、食用ほおずきのパック詰めという文字通りのミニバザーでした。また、普段の活動の様子を写した写真をボードに貼ってグリーンボランティアの紹介としました。ワークショップとミニバザーは、それぞれ数名が担当し、他の会員は通常通りの作業となりましたが、盛況でした。

[入江]



◎ 病院祭グリーンボランティアでワークショップの担当になり、ドライフラワーのミニ花束作り無料体験コーナーを設けました。せっせと草花を摘み、乾かし、使いやすいようにカットし、幾種類かの色の花、ハーブ等と草木の緑を用意しました。草花木も採るタイミングがあります。きれいに色が残るのが一番ですが、花束に向くものと向かないものがあつたりして、難しいです。

当日は時折雨の降る寒い中、来る人がいるだろうかと心配しましたが、けっこう大勢来てくれて、『この花は何？』と聞かれたり、『うまくゆかない』『こんなでいいかしら』とか、会話を交えながらそれぞれ作られていました。途中、アドバイスや手助けをすると、完成されたものを見て思わず『可愛い！きれい！』と言って持ち帰る方もいました。見本で作ったものを買われる方もいました。思ったよりも好評で、無事終えることができました。

[中島（美）]

***** お知らせ *****

10月28日（金）16：30～ ハロウィン ランタン点灯

11月2日（水）クリスマスリース作り

11月9日（水）10：00～ 秋のグリーンバザー

12月5日（月）10：00～ 懇談会“1年を振り返って” *



新しいメンバーです

- ◎登山と旅行が好きです。ハーブガーデンは患者さん達の心の癒しになっていると思いますが、庭園作りに参加させて頂くことで私自身も「豊かな時間」を持てるのでは、と思っています。 [黒田嘉孝]
- ◎7月に、40年ぶりに実家のある諏訪に戻ってきました。誰でも作業をし易い庭と畑、場作りを夢見ています。日頃は山歩きを楽しんでいます。ハーブをもっと知りたいと思っていますので、これから色々と勉強させてください。 [山田裕子]

コラム No.20

蓼科生活 23年

縁あって、この地に居を移してから人生の3分の1を過ごすことになりました。老後は森の中のここと決めて、夫婦ふたりと犬1匹で始めました。先ず家の完成の後、ガーデン作りに情熱を注ぎ、山登り、冬あそび、体力維持の為にテニスと、毎日が風のように楽しく過ぎていきました。中央病院のボランティア参加も考えてみると、21か22年になるのでしょうか…

我が家は戦後に赤松やカラマツの植樹がなされた土地でした。しかし、この地に生きるリョウブ、レンゲツツジ、ダンコウバイ、ニシキギ、山ウルシ、サワフタギ、モミジ、また、地面を這う紅花イチヤクソウ、草ボケなど、わたしにはこの上なく魅力的でした。そう、この土地のものそのままに大事に残して、好きなコブシ、ナナカマド、ヤマボウシ、オオカメノキ、白樺を植えて、自然の雰囲気のある庭にしようと決めました。



オオヤマレンゲの実

努力の甲斐あって、あちこちで求めたたくさんの山野草、球根類、宿根草など咲き乱れて、春の新芽や紅葉の美など自分的には理想に近い居心地の良い庭になりました。しかし、長い年月の間に、この環境で生きていけないものや鹿の食害にあたりで、変化が生じました。大きな問題は木の成長です。森の中で木は競って伸びるということに初めはそれ程の心配を払わなかった。見上げると、少しずつ庭が木々の葉で覆われていきます。それはゆっくりと元の森に帰ろうとしているようです。私たちが年齢を重ねているように… 庭も変化するのですね。でも今、まさに黄葉から色を染めてゆく森の庭を見てこれで良かったんだと…



その美しい樹木のさまや葉、花、虫、小さな宇宙に目をカメラを向けて更に楽しんでゆくことにしましょう。 [堀]

*左のお知らせにありますように、今年の懇談会は会場（病院東棟 2F 講堂）の都合で、7日（水）⇒5日（月）になりました。